

# 市消費生活センター



問い合わせ 市消費生活センター ☎ 0573-23-36

今冬は節電志向により燃焼式暖房機の使用機会が増えることが予想されます。特に以下の事故に注意しましょう。



石油ストーブの事故は多くの原因で発生しています。

## 給油時の漏れた灯油で火災

原因 ▲  
石油ストーブの事故は多くの原因で発生しています。  
事例  
住宅から出火し、1人が死亡して2人がやけどを負った。  
(平成22年1月 富山県)

の締め方が不完全だったために灯油がこぼれ、ストーブの火が引火し、火災に至ったものです。

## 間違えてガソリンを給油して火災

原因 ▲  
ガソリンを灯油と間違って石油ストーブに給油したため、異常燃焼を起こして火災に至ったものです。  
(平成21年3月 千葉県)

石油ファンヒーターを使用中、前に置いたスプレー缶が爆発して火がつき、消火の際にやけどを負った。  
(平成23年1月 大阪)

## 石油ファンヒーターの前に置いたスプレー缶が爆発

原因 ▲  
スプレー缶がファンヒーターの温風で過熱され、内圧が上昇して破裂し、噴射剤の可燃ガスにファンヒーターの火が引火したものです。  
カセットボンベやスプレー缶などをストーブ、ガスコンロなど熱源の近くに置かないでください。過熱されると内圧が上昇して破裂・爆発し、噴き出た可燃ガスが引火し危険です。  
(製品評価技術基盤機構パンフレットより)

## 「ロト6の当選番号を教えます」は詐欺

問い合わせ

市消費生活センター ☎ 0573-23-36

石油ストーブを閉め切った寝室で長時間使用したため、酸素が不足しないと新鮮な空気が不足して 않습니다。

ものが燃えるためには、たくさんの空気が必要です。そのため、換気をしないと新鮮な空気が不足して不完全燃焼がおきて一酸化炭素が発生し、一酸化炭素中毒になります。一酸化炭素は無色・無臭のため気がつきにくく中毒になると死亡することもあります。

石油ストーブを閉め切った寝室で長時間使用したため、酸素が不足しないと新鮮な空気が不足して不完全燃焼がおきて一酸化炭素が発生し、一酸化炭素中毒になります。一酸化炭素は無色・無臭のため気がつきにくく中毒になると死亡することもあります。

「会員になれば、ロト6の当選番号を事前に教える」という電話がかかってきた。「当選番号を言うから、明日新聞で確認してみて」と言われ、翌朝の新聞を見たところ、当たっていたのですっかり信用してしまい、会員になるための審査手続きを行った。後日、合

格の連絡の際に、情報料として350万円かかると聞き、あまりに高額だったので不安になった。払つても大丈夫だろうか。

（60歳代 男性）  
「アドバイス」  
ロト6などの数字選択式宝くじの当選番号を事前に教えてもらうのと引き換えに、高額な情報料や預託金を支払われたという相談が寄せられています。

数字選択式宝くじの抽選は、インターネットで生中継されています。抽選結果が翌朝の新聞に掲載されるまでの時間差を利用して消費者をだますのが、この詐欺の手口です。

宝くじの抽選は厳正、公正に行われており、抽選結果が事前に分かれることは、絶対にありません。

うまい話には耳を貸さず、お金は絶対に支払わないようにしてましょう。困ったときは、消費生活センターなどにご相談ください。

# No.1 大竹市民の幸福感に関するアンケート結果発表

問い合わせ 企画財政課 ☎ 0573-21-25



## 一般用アンケート結果 調査対象

無作為抽出した市内在住の満18歳以上の方1,500人

有効回答数（回収率）  
310件（20.7%）

分析概要 各項目・各設問で肯定的な回答の方の割合を算出。その値で市民の幸福感やまちづくりに対する肯定的な回答を算出し、それをもとに定めた市民自治の精神の広がりを測定しました。

アンケートは、現在の状況を回答いただく一般用と前年度と比較して回答いたしました。モニター用の2種類用意し、合計1,677人に送付。わがまちプラン（第五次大竹市総合計画）のめざす「大竹市に住んでよかったです」と思えるようなまちづくりに役立てるため、政策評価として行いました。今回は、一般用アンケートの回答結果について報告します。

別表【一般用アンケート回答分】

問番号	項目	設問	H25		項目の回答が「はい」割合		順位	
			設問の回答が「はい」割合	順位	項目の回答が「はい」割合	順位		
問1	生活基盤が整ったまち	地域産業が盛んでまちに元気があると思う。	27.7	15	47.0	5		
		目的地までの移動がしやすいまちだと思う。	52.9	11				
		道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整っていて暮らしがやすい。	60.3	7				
問1	安全なまち	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思う。	76.1	1	62.0	1		
		消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思う。	52.6	12				
		自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思う。	57.4	9				
問1	安心できるまち	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思う。	61.9	5	56.0	4		
		生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日々から気を付けている。	73.9	2				
		地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思う。	32.3	14				
問1	心ゆきるまち	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している。	60.6	6	58.9	3		
		地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている。	59.0	8				
		環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいな気持ちがいい。	57.1	10				
問1	大竹を愛する人づくり	大竹のよいところを知っている。	46.5	13	60.3	2		
		市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ。	62.3	4				
		あなたの暮らしの地域が好きだ。	72.3	3				
問1 全体			56.9					
問2	市民自治	あなたの暮らしの地域のことに対する興味をもついている。	58.1		52.9			
		自分もできれば何か地域の役に立てるようなことをやってみたい。	47.7					
問3	あなたが普段の生活の中で心配に思っていることについて、どうすれば、その心配を解消できると思うか、あなたの考えを教えてください。							
問4	あなたは、どのような時に幸せを感じますか。最近「幸せだな」と感じたことを教えてください。	※ 自由記述による回答						

## 結果の公開

調査結果は、わがまちプラン前期基本計画の数値目標達成状況とともに「行政評価報告書」としてまとめています。情報公開コーナー（市役所1階）、各支所、図書館、市ホームページでご覧ください。

大竹市について普段思っていることを尋ねた問1からは全体としては、6割近い方が、ばくぜんとですが、幸せ感を感じて日常生活を送っています。また市民自治の考え方を尋ねた問2からは、受け入れられていることが分かります。（別表参照）

これから取り組み

今後は、これらの分析結果から見えてくる行政課題の解決に取り組むことで、本市の魅力を高めることに、引き続き、その他の分析結果やモニターアンケートの紹介をしていきます。また自由記述に見られた、「データを提供する「幸せ感アップ計画」を引き続き広報紙で掲載していく